

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	演習
科 目 名	総合美容演習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	実習室
担 当 教 員	間柴靖裕	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
美容鍼灸の意義と必要性を考え、(財)日本美容鍼灸マッサージ協会でおこなっている上田式美容鍼灸の基礎部分である理論・実技を学び、少ない鍼で心身ともに健康に導き、安全におこなえる美容鍼灸の土台を習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
期末テストと平常点						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
鍼灸師・エステティシヤンのためのよくわかる美容鍼灸 著 上田隆勇 三和書籍						
《授業外における学習方法》						
学習内容の復習						
《履修に当たっての留意点》						
実践的な美容鍼灸技術を身につけ、将来に活かしてください						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	美容鍼灸の歴史や効果、社会に求められる意義について学ぶ	テキスト配布 スライド		
		各コマにおける授業予定	美容鍼灸とは・・・ 美容鍼灸の歴史と基礎医学			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	上田式美容鍼灸の流れと全体像を把握する	テキスト配布 スライド	前回までの復習	
		各コマにおける授業予定	美容鍼灸の流れと実技デモ			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	美容鍼灸に必要な顔面部の筋の解剖学を説明できる	テキスト配布 スライド	前回までの復習	
		各コマにおける授業予定	顔面部の筋について			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	美容鍼灸に必要な顔面部の経穴を取穴できるようになる	テキスト配布 スライド	前回までの復習	
		各コマにおける授業予定	顔面部経穴の取穴			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	上田式美容鍼灸を実践してみる	テキスト配布 スライド	前回までの復習	
		各コマにおける授業予定	美容鍼灸実技 お互いにやってみよう			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	経絡治療を理解できるようになる。実技の復習。	テキスト配布 スライド	前回までの復習
		各コマに おける 授業予定	経絡治療 座学 美容鍼灸実技		
第7回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	経絡治療を実践できるようになる。実技の復習。	スライド	前回までの復習
		各コマに おける 授業予定	経絡治療 実技 美容鍼灸実技		
第8回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	奇形八脈を理解できるようになる。実技の復習。	テキスト配布 スライド	前回までの復習
		各コマに おける 授業予定	奇形八脈 座学 美容鍼灸実技		
第9回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	奇形鉢脈を実践できるようになる。実技の復習。	スライド	前回までの復習
		各コマに おける 授業予定	奇形八脈 実技 美容鍼灸実技		
第10回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	表情筋の筋膜リリースを知る。実技の復習。	スライド	前回までの復習
		各コマに おける 授業予定	アキュレッチ(フェイシャル手技)デモ施術 美容鍼灸実技 お互いに		
第11回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	美容鍼灸に必要な皮膚科学について説明できる	テキスト配布 スライド	前回までの復習
		各コマに おける 授業予定	皮膚科学		
第12回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	美容鍼灸におけるニキビ治療に関する説明ができる	テキスト配布 スライド	前回までの復習
		各コマに おける 授業予定	ニキビ治療		
第13回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	美容鍼灸を習得し実践できるようになる。	スライド	前回までの復習
		各コマに おける 授業予定	美容鍼灸実技 お互いにやってみよう		
第14回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	美容鍼灸を習得し実践できるようになる。	スライド	前回までの復習
		各コマに おける 授業予定	美容鍼灸実技 お互いにやってみよう		
第15回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	美容鍼灸を安全に実践できるように確認する。		前回までの復習
		各コマに おける 授業予定	まとめ実技		